

熊野古道「杖作り」体験

田辺市
本宮町

世界遺産センターで実施

「紀伊山地の霊場と参詣道」が世界遺産登録されて今年で3周年。和歌山県では1日から7日(登録決定日)までを「世界遺産週間」と位置づけ、高野山と熊野地方でさまざまなイベントを実施している。



スギの杖作り

1日の高野山地域を舞台にした「高野山町石道ウォーク&声明 LIVE」、2日の世界遺産センター(田辺市本宮)に於ける熊野(宮行政局)における熊野曼荼羅絵解き」に続いて3日には同センターで熊野古道を歩く体験が実施される。



杖に焼印を入れる

体験が行われた。「熊野古道をお気に入りの杖で歩こう」という杖作りは午前9時から、同行政局前で行った。熊野古道の語り部らが参加。スギの杖はあらかじめ皮がむかれたもので、参加者はサンドペーパーで木をこすり、そのあと「熊野本宮」の焼印を入れ、ついで杖に透明の塗料をぬって仕上げた。さらに、手のかかる部分に穴を開けてストラップを通し、それに「熊野古道」と書いた板を結んだ。杖は参加者に記念として持ち帰ってもらったが、「語りの際、この杖を持って歩きたい」と、また「この杖をたくさん作り、熊野古道に用意して散策される人にも使ってもらった」と話していた。

平成19年7月5日付 紀南新聞(一面)